kaneka カガクでネガイをカナエル会社

2027年3月期第2四半期（中間期） 決算説明資料

2026年11月11日(水)

株式会社カネカ

INDEX

2027年3月期第2四半期　決算サマリー	01
業績概要	02
事業概況	04
貸借対照表	09
キャッシュ・フロー計算書	10
連結業績予想などの将来予測情報	11
株主還元	15
トピックス	16

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、
その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2027年3月期第2四半期　決算サマリー

2027年3月期第2四半期　実績

売上高
4,470億円　(対前年+12.5%)

営業利益
287億円　(対前年+91.7%)

親会社株主に帰属する中間純利益
146億円　(対前年+32.5%)

- 全セグメントで「**増収・増益**」(対前年比)
- 売上高・営業利益　：　中間期ベースで**過去最高**を更新

営業利益増減要因（対前年比）

（増益要因）

Vinyls・MOD・MS　：安定供給を徹底し、価格改定を実施

Foam　：　旺盛な需要に対応し、価格改定も実施

Medical：海外向け拡販やM&Aが業績に貢献

Supplement：米国・アジアを中心に還元型Q10が販売増

©2026 Kaneka Group All rights reserved.

業績概要

(単位:億円)

	2026年3月期 中間期	2027年3月期 中間期	増減(対前年同期比) 金額	増減(対前年同期比) %
売上高	3,974	4,470	495	12.5%
営業利益	150	287	137	91.7%
経常利益	118	243	126	106.8%
親会社株主に帰属する中間純利益	110	146	36	32.5%
営業利益率	3.8%	6.4%		
1株当たり中間純利益	176.51円	243.48円		

為替・原料価格

期中平均レート(米ドル)	146.0円	159.5円		
期中平均レート(ユーロ)	168.1円	184.4円		
国産ナフサ	64,750円	107,950円		

(前年同期比)

- 売上高 : 増収
- 営業、経常、純利益 : 増益

©2026 Kaneka Group All rights reserved.

セグメント別　売上高・営業利益

（単位：億円）

	売上高				営業利益			
	2026年3月期 中間期	2027年3月期 中間期	増減 金額	増減 %	2026年3月期 中間期	2027年3月期 中間期	増減 金額	増減 %
Material SU	1,625	1,850	225	13.8%	126	193	67	53.1%
Quality of Life SU	970	1,082	111	11.5%	94	149	54	57.7%
Health Care SU※	373	455	81	21.8%	57	68	11	19.5%
Nutrition SU	1,001	1,079	78	7.8%	60	73	13	21.8%
その他	5	5	0	2.3%	2	2	0	1.4%
調整額	-	-	-	-	△189	△198	△8	-
計	3,974	4,470	495	12.5%	150	287	137	91.7%

※SU：Solutions Unit

※当中間期より、新製品の上市に伴い、一部連結子会社の事業セグメントを「調整額」から「Health Care SU」へ変更
　前中間期のセグメント情報についても、変更後の区分方法により作成したものを記載

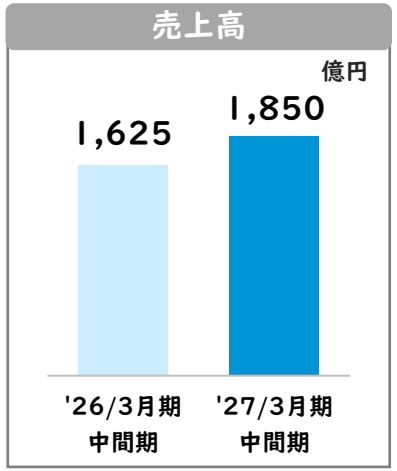
©2026 Kaneka Group All rights reserved.

事業概況

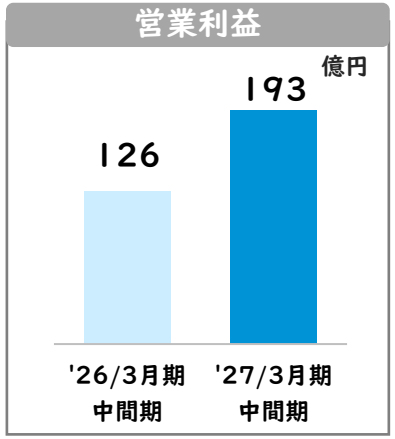
(Material Solutions Unit)

原料価格高騰が続くなか、安定供給・価格改定を実施 ⇒ 増収増益

売上高



営業利益



Vinyls and Chlor-Alkali

- 上期実績 ： 製品の安定供給を徹底し、製品価格改定を実施
- 下期以降 ： スプレッド安定化を推進

Performance Polymers (MOD)

- 上期実績 ： グローバルで販売堅調。安定供給と差別化製品の拡販に注力
  MXの販売好調
- 下期以降 ： 高付加価値品（非塩ビ・MX）の拡販

Performance Polymers (MS)

- 上期実績 ： 他素材からの置換と拡販を実現
  セメダインとの協業による成果も寄与
- 下期以降 ： 品質優位性を活かしたグローバルでの拡販

Green Planet

- 上期実績 ： 世界のブランドホルダーと共同した取り組みが着実に進展
- 下期以降 ： 国内外でカトラリー・包装材等での採用が拡大

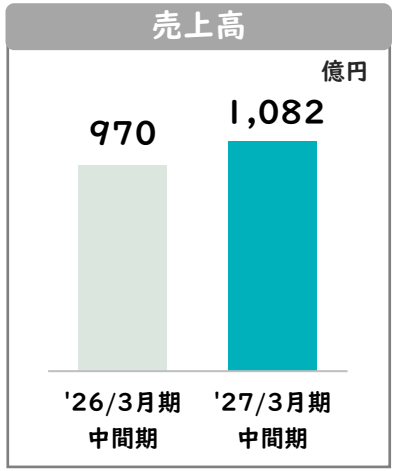
©2026 Kaneka Group All rights reserved.

事業概況

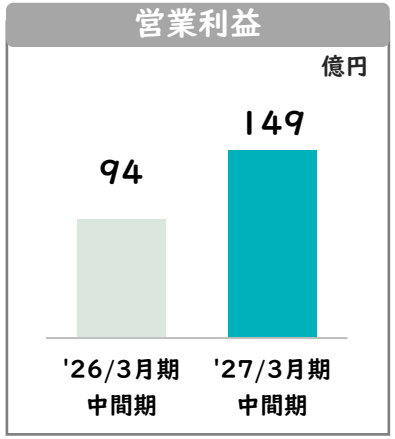
(Quality of Life Solutions Unit)

Foamでの安定供給継続、各SVでの価格改定実施 ⇒ 増収増益

売上高



営業利益



Foam & Residential Techs

- 上期実績： 旺盛な需要に対し、安定供給を継続。拡販を実現
  価格改定・コストダウンに努め、スプレッド改善
- 下期以降： 安定供給を継続し、スプレッド安定化

E & I Technology

- 上期実績： ポリイミドフィルムは高付加価値グレードの拡販を実現
  大型液晶TV向けの光学用フィルムは需要調整
- 下期以降： 需要は一時減速も、高付加価値グレードの拡販が進展

PV & Energy management

- 上期実績： 国内戸建て住宅向け高効率太陽電池の販売堅調
- 下期以降： タンデム型ペロブスカイト太陽電池の量産技術開発を推進

Performance Fibers

- 上期実績： 頭髪製品が拡販。販売堅調な難燃ファブリックは価格改定を実施
- 下期以降： 頭髪製品での需要は堅調に推移

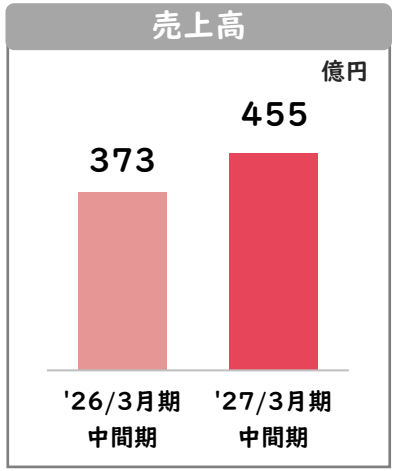
©2026 Kaneka Group All rights reserved.

事業概況

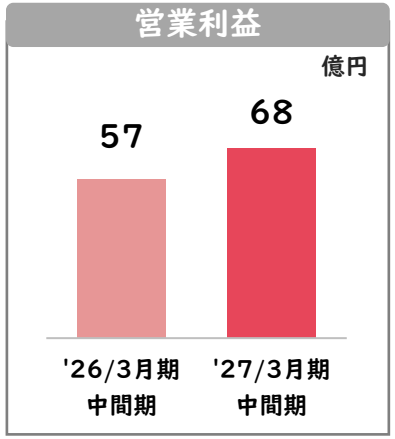
(Health Care Solutions Unit)

Medicalの強いモメンタムが全体を牽引　⇒　増収増益

売上高



営業利益



Medical

- 上期実績：　血液浄化器・カテーテルともに販売拡大
  海外向けの拡販が進み、M&Aの業績への貢献が加速
- 下期以降：　新製品拡販・販売地域の拡大（米国・中国など）

Pharma

- 上期実績：　バイオ医薬の定修や販売案件の下期ずれ込みなどにより低調
- 下期以降：　低分子・バイオ医薬品の開発力強化により新規案件増加の見通し

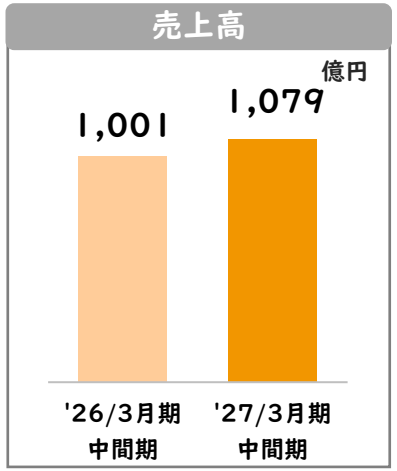
©2026 Kaneka Group All rights reserved.

事業概況

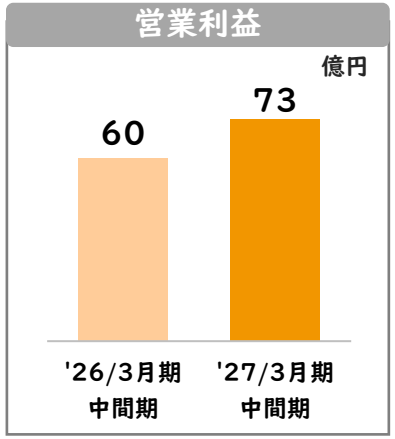
（Nutrition Solutions Unit）

好調なSupplementが全体を牽引 ⇒ 増収増益

売上高



営業利益



Supplemental Nutrition

- 上期実績： 米国・アジアを中心に還元型Q10の販売が大幅増
- 下期以降： 引き続き米国・アジアを中心に還元型Q10を拡販

Foods & Agris

- 上期実績： 高付加価値品へのシフト・価格改定を継続
- 下期以降：「B2C」製品のさらなる拡販、価格改定による収益改善

©2026 Kaneka Group All rights reserved.

セグメント別　売上高・営業利益　2Q実績（対1Q比）

➢ 1Qに引き続き、強いモメンタムは継続

（単位：億円）

	売上高				営業利益			
	2027年3月期		増減（対1Q比）		2027年3月期		増減（対1Q比）	
	1Q	2Q	金額	%	1Q	2Q	金額	%
Material SU	944	905	△ 39	△4.1%	109	84	△ 24	△22.3%
Quality of Life SU	538	543	5	0.9%	70	79	9	12.5%
Health Care SU	220	235	14	6.5%	33	36	3	9.1%
Nutrition SU	524	554	30	5.7%	34	39	5	15.7%
その他	3	2	△1	△20.8%	1	1	△1	△57.1%
調整額	-	-	-	-	△ 97	△ 101	△4	-
計	2,230	2,239	9	0.4%	149	137	△12	△8.1%

※SU：Solutions Unit

営業利益差異要因

- Material　：Vinyls・MOD・MS　原料高騰によりスプレッド縮小
- QOL　：Fiber　原料高騰に伴う価格改定の実施など
- Health Care　：Medical　販売堅調
- Nutrition　：Supplement　還元型Q10の米国・アジアでの販売拡大

©2026 Kaneka Group All rights reserved.

貸借対照表

(単位：億円)

		2026年3月末	2026年9月末	増減
資産の部	流動資産	4,657	4,828	171
	固定資産　等	4,934	5,025	91
	資産合計	9,592	9,854	262
負債の部	有利子負債	2,114	2,219	105
	その他	2,261	2,327	66
	負債合計	4,375	4,546	171
純資産の部	自己資本	4,987	5,069	82
	非支配株主持分　他	230	239	9
	純資産合計	5,217	5,308	91
負債、純資産　合計		9,592	9,854	262

自己資本比率		52.0%	51.4%
D/Eレシオ		0.42	0.44
1株当たり純資産		8,279.85円	8,468.66円

- 総資産　：　棚卸資産・有形固定資産増などにより増加
- 負債　　：　仕入債務増・社債発行などにより増加
- 純資産　：　配当支払い・自己株式増の一方、利益剰余金増などにより増加
- 自己資本比率　：　51.4%

©2026 Kaneka Group All rights reserved.

キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

	2026年3月期 中間期	2027年3月期 中間期
営業活動によるキャッシュ・フロー	246	297
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 153	△ 280
フリー・キャッシュ・フロー	93	17
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 94	33
現金及び現金同等物の増減額 (含　換算差額、連結の範囲の変更に伴う増減)	△ 3	61
現金及び現金同等物の期末残高	443	551

- 営業CF ： 税金等調整前中間純利益や減価償却費等により297億円の収入
- 投資CF ： 有形固定資産の取得等により280億円の支出
- 財務CF ： 社債発行や借入金増により33億円の収入
- 現金及び現金同等物の期末残高は551億円

©2026 Kaneka Group All rights reserved.

2027年3月期　業績予想サマリー

2027年3月期　通期業績予想

- 売上高・営業利益は「**増収・増益**」を計画
- 営業利益は「**過去最高値**」の更新を計画

売上高
8,900億円(対前年+9.7%)

営業利益
480億円(対前年+45.9%)

親会社株主に帰属する当期純利益
320億円(対前年+3.3%)

株主還元

- 年間配当金:「**増配**」
  期初計画値 210円/株 ⇒ **215円/株**
- 配当性向:**40.1%**

(参考)株主還元方針(2026年5月29日公表)

- 「**配当性向　40%以上**」を目安
- 「**累進配当**」を実施

©2026 Kaneka Group All rights reserved.

連結業績予想などの将来予測情報

（単位：億円）

	2026年3月期	2027年3月期		増 減	
	実績	前回予想 (5/14)	修正予想	対前年	対前回予想
売上高	8,116	8,200	8,900	784	700
営業利益	329	360	480	151	120
経常利益	289	320	415	126	95
親会社株主に帰属する当期純利益	310	315	320	10	5
営業利益率	4.1%	4.4%	5.4%		
1株当たり当期純利益	501.26円	523.04円	536.33円		
1株当たり配当金	160.00円	210.00円	215.00円		
ROE（自己資本当期純利益率）	6.4%	6.2%	6.4%		
為替・原料価格					
期中平均レート（米ドル）	150.7円	150.0円	155.0円		
期中平均レート（ユーロ）	174.6円	170.0円	178.0円		
国産ナフサ	65,025円	120,000円	120,000円		

- ✓ 世界的な政情不安の深刻化により、3Q以降の事業環境は不透明な状況が続くと想定
- ✓ Health CareやNutrition領域での販売拡大が進む見通し
- ✓ Material領域は市場環境のボラティリティが依然高く、不透明な情勢が続く

⇒ 2026年5月14日公表の連結業績予想を修正

©2026 Kaneka Group All rights reserved.

連結業績予想などの将来予測情報(セグメント別)

（単位：億円）

	売上高					営業利益				
	2026年3月期	2027年3月期		増減		2026年3月期	2027年3月期		増減	
	実績	前回予想(5/14)	修正予想	対前年	対前回予想	実績	前回予想(5/14)	修正予想	対前年	対前回予想
Material SU	3,272	3,260	3,580	308	320	249	242	317	68	75
Quality of Life SU	1,943	1,970	2,100	157	130	180	192	251	71	59
Health Care SU	830	890	970	140	80	141	181	171	30	△ 10
Nutrition SU	2,060	2,070	2,240	180	170	137	140	156	19	16
その他	11	10	10	△ 1	-	6	5	5	△ 1	-
調整額	-	-	-	-	-	△ 384	△ 400	△ 420	△ 36	△ 20
計	8,116	8,200	8,900	784	700	329	360	480	151	120

※SU：Solutions Unit

©2026 Kaneka Group All rights reserved.

連結業績予想などの将来予測情報(セグメント別)

➢ 業績予想に関する説明（下期見通）

✓ Material　：不透明な市場環境が続くなか、高付加価値品の拡販、品質優位性を活かした拡販を進める

✓ QOL　：E&I スマートフォンや大型液晶TVの需要が一時減速。高付加価値グレードの拡販を進める

Fiber 頭髪製品の需要が堅調に推移

✓ Health Care　：Medical 新製品拡販・販売地域拡大（米国・中国）が順調に進展

Pharma 低分子・バイオ医薬品ともに新規案件が増加する見通し

✓ Nutrition　：Supplement 米国・アジアを中心に還元型Q10の拡販が継続

Foods 高付加価値品へのシフト、「B2C」製品の販売拡大を進める

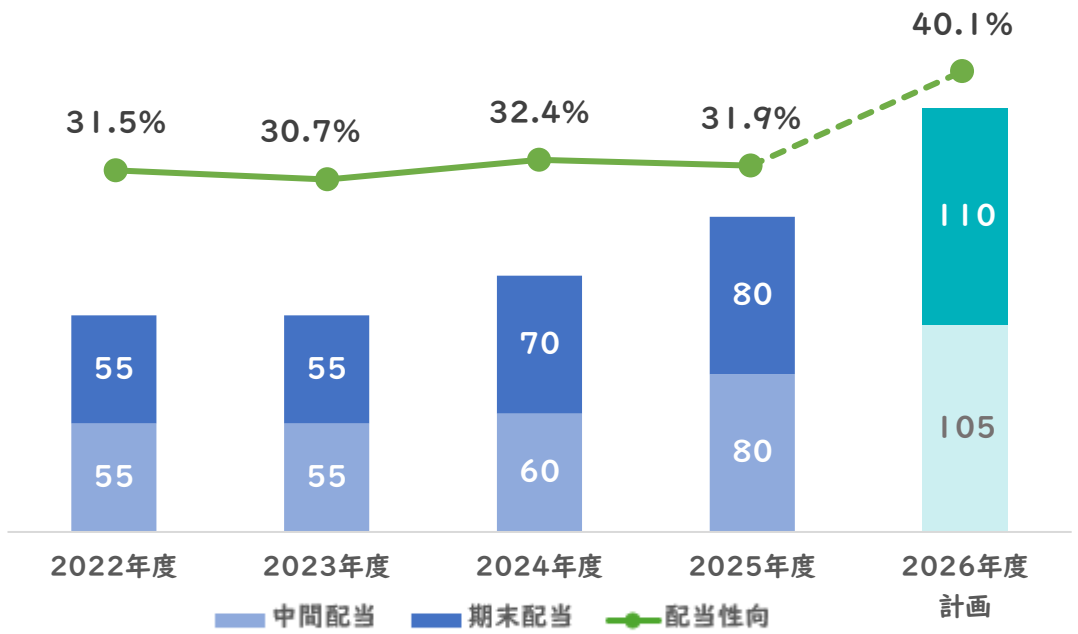
©2026 Kaneka Group All rights reserved.

株主還元

計画
2026年度

- 年間配当金（**増配**）　期初計画値 210円/株 ⇒ **215円/株**
- 株主還元指標　配当性向 **40.1%**
- 自己株式取得中（期間：26年5月～27年3月）「70億円、140万株（上限）」

配当および配当性向（単位：円/株）



株主還元方針

配当

累進配当

連結配当性向40%以上を目安
（2026年度　30%⇒40%に引き上げ）

自己株式取得

機動的な自己株式の取得を継続

2025年度取得実績　120億円
2026年度取得中　70億円（上限）

©2026 Kaneka Group All rights reserved.

トピックス

『すすむチカラ　レモンマートルドリンク　すっきり柑橘風味』を新発売
-日本ウオーキング協会初の企業共同開発飲料-

【製品特長】

- ✓ 日本ウオーキング協会と企業との初の共同開発飲料
- ✓ 当社が10年以上研究を続けてきたレモンマートル*由来成分「カスアリニン」を配合した健康飲料
- ✓ 軽い運動やウォーキングの前後など、日々の健康習慣に取り入れやすい飲料として、「歩く人の、新習慣。」を提案
- ✓ 運動中・後にも飲みやすいすっきりとした柑橘風味を採用





*レモンマートル：オーストラリア原産のハーブの一種。葉にはレモン様の香りの主成分であるシトラールを豊富に含んだ香り豊かなハーブ。

©2026 Kaneka Group All rights reserved.

kaneka カガクでネガイをカナエル会社

＜ お問い合わせ ＞

（株）カネカ　IR（Investors Relations）部

03-5574-8090